

ミラー型

ドライブレコーダー

KH-M9600R

取扱説明書

保証書添付

Ver1.01



この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

- 本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し必要に応じてご利用ください。
- 保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。
- 写真及びイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。
- 本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

目次

・はじめにP1
・安全上のご注意P2
・本製品についてP5
1. 本体各部名称・機能 本体の各部名称・機能P6
2. 本体の準備および接続 各種準備、接続についてまとめてあります。P7
3. 使用方法P14
4. 各種メニュー設定項目についてP15
5. 再生方法P18
6. 注意すべき内容P19
7. 主な仕様P21
8. 故障かな？と思ったらP22
・保証書巻末

はじめに

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。
本取扱説明書の最終ページに製品保証書が付いております。本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。

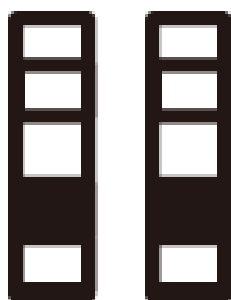
セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。
また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。
※レンズ部には保護フィルムが装着されているので、赤いタグを持ちはがしてください。

- 本体 ×1
- 車載用シガー電源アダプター ×1
- リアカメラ ×1
- 本体固定バンド ×2
- microSDカード(32GB) ×1
- 取扱説明書 ×1



本体



本体固定バンド



シガー電源アダプター
ケーブル長さ約3.4m



リアカメラ
ケーブル長さ約7.0m



microSDカード(32GB)

※: 本体には挿入されておりません。
取扱説明書に貼り付けてあります。






取扱説明書
(保証書付)

※同梱品のデザイン及び色合いは、品質向上の為
予告なく変更することがあります。




安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 : 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 : 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3 : 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

警告

使用するとき

- 運転中は本製品を操作しないでください。



禁止

事故の原因となります。本製品を操作する場合は、安全な場所に停車してから行ってください。

- 運転操作に支障がない場所に本製品の取付や電源コードの設置を行なってください。



禁止

設置場所は運転の視界のさまたげにならないか確認してください。電源コードがハンドル等に絡まないよう、配線の取り回しを行なってください。

- シガー電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してから抜くこと。



禁止

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店またはサポートセンターにご相談ください。

- 高温になる場所で長時間放置及び使用しないでください。



直射日光の当たる場所・閉め切った車内、ストーブのそばなどに放置しないでください。火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。ご使用後は取り外し日陰などのところで保管してください。

使用するとき

- 修理・分解・改造しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサービスセンターにご依頼ください。

- 内部に異物を入れないこと



異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。

- 水に濡らしたりしないこと



水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしないでください。

- 液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと



禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。



警告

設置するとき

- フロントガラスの上部20%、ルームミラーの以外のところには取り付けないこと



禁止

ルームミラーに専用の取り付けバンドでしっかり固定させます。しっかり固定させないと本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

※取付は、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されます。

運転者の視界の妨げにならないように、ルームミラーに取付してください。

※地デジやETCのアンテナ近くには、取付しないでください。

※GPS機能を持つ製品や、VICS受信機の近くには取付しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

※衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや、防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付してください。

シガー電源アダプターについて

- シガー電源アダプターを分解、改造、修理しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。

- シガー電源アダプターは付属のものを使用すること



禁止

指定以外のシガー電源アダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。

- アダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
- ・引張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしないこと
- ・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと



指示

火災・感電の原因となります。

- シガーソケット内の汚れを取り除く



指示

シガーソケット内に汚れが付着している場合は、製品動作が不安定になる場合があります。

- ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと



指示

感電の原因となります。

- シガー電源アダプターをシガーソケットから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと



指示

コードを引っ張って抜くと、コードやアダプターが傷つき、火災・感電の原因となります。アダプター本体を持って真っ直ぐ抜いてください。

本製品について

- ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。
- すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機の録画映像は事故等の証拠として効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用によって生じた損害、記録された映像やデータの消失・損傷・破損による損害については弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画・撮影した映像は使用方法によっては被撮影者の肖像権・著作権・プライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが弊社は一切の責任を負いません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の認識ができない場合があります。そのような場合は前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切の責任を負いません。
- 運転者は走行中に液晶画面等を注視したり、機能操作はしないでください。本機を操作する場合は安全な場所に停車させてから行なってください。
- 静電気や電気ノイズ、水に濡らしたりした場合、長期間使用しなかった場合などは、撮影されたデータが破損する恐れがあります。
- 本機の取り付け時に、ノイズ等で他の車載製品に影響が生じた場合は、対象の機器と本機をできるだけ離して設置してください。
- バックガイド連動時の注意。取扱説明書にしたがいガイド位置を設定してもカメラの映像と実際の車両位置は異なります。本機の機能を使用する際は車両周辺の本機の状況に十分留意し、ご自身で目視し運転していただきますようお願い致します。

〈〈内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて〉〉

- 炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。
- 鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

※炎天下の車内や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。
ご使用後は取外して、日陰などの場所で保管してください。

1: 本体各部名称・機能

本体各部の名称



※画像が実物と異なる場合があります。

- ①. 可動レンズ部
※説明図は格納時の状態。ミラー部設置時にはP8の図のように位置を変える必要があります。
- ②. 電源端子
※付属の専用DCシガー電源アダプター専用
- ③. リアカメラ端子
※付属のリアカメラ専用
- ④. microSDカード挿入口
※ご使用にあたり同梱のmicroSDカードを挿入する必要があります。
- ⑤. タッチセンサー方式モニターミラー部
- ⑥. 電源ボタン
- ⑦. リセットボタン

2: 本体の準備および接続

■ microSDカードの装着

本製品には、microSDカードが1枚付属されています。

動画や静止画を撮影するためのものです、各機能の設定後電源がオフの状態でご本品にmicroSDカードを装着してからご使用ください。

また、市販のmicroSDカードをご使用するときは8GB～32GB(Class10以上)のものをご用意ください。

※本体には挿入されておりません。本書(取扱説明書)に貼り付けてあります。

※付属のmicroSDカードは、本機でフォーマットしてから使用してください。

※市販のmicroSDカードを使用する時は、フォーマット作業を行ってから使用してください。

※市販のmicroSDカードが本体でフォーマットできない場合、PC等でフォーマットしていただく必要があります。

※フォーマット形式は「FAT32」です。それ以外の形式では本機ではご使用いただけません。

microSDカードの向きに注意してカチッという音がするまでツメで押し込んで装着ください。



取り外す際は、ツメでカードをカチッと音がするまで押し込み指をはなします。カードが少し出てきますので、まっすぐ引き抜きます。

【留意事項】

- microSDカードを挿入する向きにご注意ください。間違った向きで無理やり押し込むと、本機およびmicroSDカードが破損する原因となります。
- microSDカードは消耗品です。定期的に新しい物と交換してください。
- microSDカードの性質上、書き込み回数など製品寿命があります。繰り返し書き込みをしていると、カードのメモリ内部に不良箇所が発生する場合がありますので、定期的にフォーマットをすることをおすすめいたします。
- すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。また、ごくまれに本機とSDカードの親和性に不適合なものがあり、本機で正常に動作しない場合や、本機自体が突然に起動できなくなるなどの障害が発生する場合があります。

■ ルームミラーへの取付方法について

車両のルームミラーに、同梱の専用固定バンドを使用して取付てください。道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されていますので、ルームミラー以外の視野の妨げになるような場所に設置しないでください。

※地デジやETCのアンテナ近くには、取付しないでください。

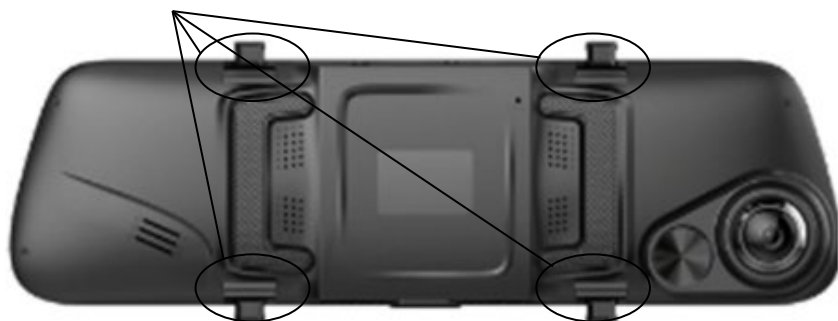
※GPS機能を持つ製品や、VICS受信機の近くには取付しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

※衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや、防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、搭載する車両の説明書に従い取付してください。

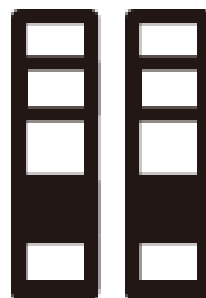
※車両の安全運行装置に異常をきたす場合には、本機の使用を直ちに中止してください。

本体のクリップ部に同梱の専用取り付けバンドを装着し、ルームミラーを挟み込むように、2本取り付けてください。

本体クリップ部



専用本体固定バンド
(2本同梱)



※本機を取り付けるルームミラーが大型の場合専用固定バンドに過剰な負荷がかかり、ゴム強度が早急に劣化する場合があります。

※無理な取り付けにより、運転中に落下すると、大事故に繋がる恐れがありますので、十分に確認したうえで、ご使用ください。

ルームミラーに取り付ける際に、本体背面の可動式レンズ部をクリック音がするまで、下げてください。本機のカメラレンズの位置が下部に飛び出した状態でない、正常な撮影状態になりません。



■ 電源接続および起動/終了方法

シガー電源アダプターを本体に接続します。

- ① 本体上面にある電源 (miniUSB) ポートに、付属のシガー電源アダプターを接続します。
- ② 運転操作に支障をきたさないよう、電源コードの取り回しには注意して行なってください。
- ③ 車両側のシガーソケットへの接続が終わったら、エンジンをかけ通電を確認してください。
- ④ 自動的に本体の電源がオンになり、起動画面が表示された後、録画面面に切り替り、録画を開始します。

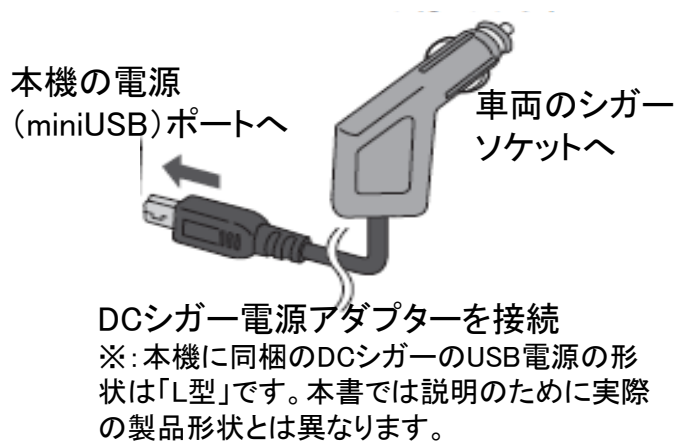
※ご購入時、または長時間使用していなかった場合、日時がリセットされている場合があります。その際は日時設定してから使用してください。

- ⑤ エンジンをストップして、シガーソケットからの電源が遮断されると、本体の電源は自動的にオフになります。

※一部車種では、エンジンをストップしてもシガーソケットに通電したままの車種もあります。その場合は、シガーソケットからシガー電源アダプターを抜いてください

※手動で本体電源のオン/オフを行なう場合は、本体下部の電源ボタンを押してください。

※アイドリングストップ機能搭載車両の一部では、本機の自動起動、自動録画、自動電源オフなどの機能が正常に動作しないものや、予期せぬ動作をするものがあります。そのような場合は車両の販売店にご相談くださいますようお願い申し上げます。



【注意事項】

本機に同梱のDCシガー電源アダプターは12Vおよび24V両用ですが、旧車や特定用途の電源を持つ車両、海外からの輸入車両など一部の車両では、以下のような現象で、ご使用できない場合があります。そのような場合は車両の電源アクセサリボックスから12V電流を取り出す社外性のDC-DC変換コンバーターなどをご使用ください。なお、社外品の取付のご相談は車両の販売店や専門の車用品店にお願いいたします。

- ・車両のDCシガーの形状が大きく、シガー電源アダプターの電気接点が接触しない場合や不安定になり、本機に適切な電力を給電できないもの。
- ・トラック等のなかで特殊用途で24V給電バッテリーを車両以外の重機、保冷などを運用するために特殊改造をされた車両の場合まれに、過電流等の制御が不安定な車両環境があり、DCシガー電源アダプターが異常加熱などの症状がみられる場合があります。

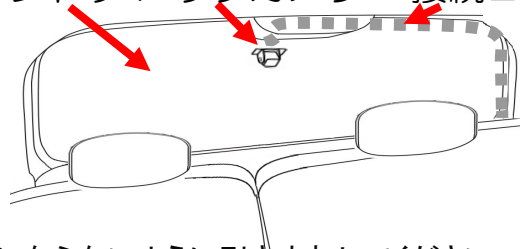
■リアカメラ取り付けについて

ご使用になる前に

- 同梱のリアカメラは本ドライブレコーダー専用です。他の機器に接続しないでください。故障の原因になります。また、車内取付け専用で防水仕様ではありませんので、車外には取付けしないでください。
- バックカメラを貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分にふき取ってから貼り付けてください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。貼り直しはしないでください。
※ 貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。張り直しをする場合は市販の強力接着タイプの両面テープ等をご自身でお買い求め、本機の形状にあわせて加工していただきますようお願いいたします。
※ 本製品取付用両面テープのサービス保守部品の取り扱いはございません。
- コーティング塗装面(フッ素樹脂加工処理)等、両面粘着テープがはがれやすい面には貼付けしないでください。
- ご使用になるまえに、粘着テープ、ネジ等が確実に取付いていることを確認してからご使用ください。

ケーブルの配線

リアウィンドウ バックカメラ 接続コード



バックカメラからの配線を運転の妨げにならないように引きまわしてください。
(市販のケーブルクランパー等使用して運転の妨げにならないように配線してください。)

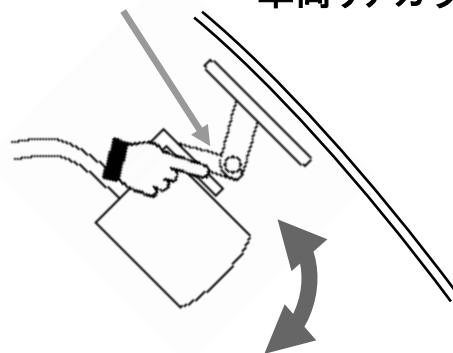
リアカメラの角度調整

角度固定用ネジ

車両リアガラス

リアカメラを貼付け後、電源オンの状態で画面を見て上下の角度調整しネジを締めて固定してください。

※車両のリアガラスの形状によってはリアカメラを適切に取り付けられない場合がありますが、リアカメラ自体の天地が逆でも、本機に同梱のリアカメラの映像は、ドライブレコーダー本体の設定で上下、左右の映像を反転することができます。



- ルームランプ等を点灯し車内を明るくすると外の画像が見にくくなることがあります。その際は、ルームランプ等を消して室内を暗くしてください。

■ リアカメラ接続方法

リアカメラを本体に接続します。


- ①本体上部にあるリアカメラ専用ポートに、付属のリアカメラを接続します。この状態で電源を入れると、「液晶モニター」にリアカメラの映像が表示されるようになります。




※リアカメラにある赤ケーブルはリバーシ信号取得用の端子ケーブルです。信号を検出すると、自動的にリア画像に切り替えて表示します。
※接続にあたっては、車両販売店かカー用品専門店にご相談ください。
※リバーシ信号検出ケーブルはご使用いただかなくても本機の機能に影響はありません。



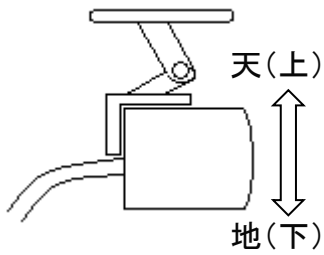
リアカメラ専用ポート


- ②運転操作に支障をきたさないよう、カメラコードの取り回しは注意して行なってください。
- ③リアカメラの接続が終わったら、エンジンをかけ通電を確認してください。
自動的に本体の電源がオンになり、画面が表示され自動的に録画を開始されますが、本体モニター画面の「」アイコンを押下すると、フロント/リアカメラを切り替えることができます。



※本機は液晶表示モードを記憶します、再度本機の電源を入れて起動すると、電源を切る直前の液晶表示状態で起動します。
もし、他の表示に戻したい場合は、再度本体モニター画面の「」アイコンを押下して、切り替えてください。

■ リアカメラの上下および左右正像/逆像の切替え調整



リアカメラの左右を正像/逆像を設定することができます。
設定「」アイコンをタッチするとメニューアイコンの一覧が表示されます。

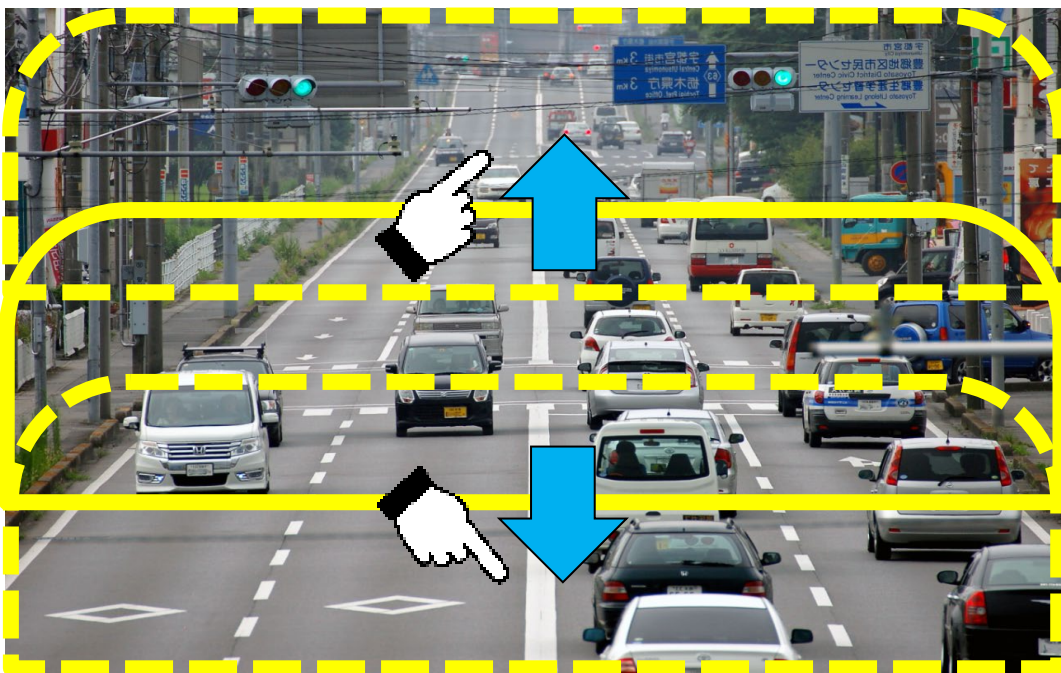
下記の表を参考に最適な設定を選択してご使用ください。

<p>左右反転切替</p>	<p>上下反転切替 ※通常は使用することはありませんが、リアガラスの形状からリアカメラを天地逆に取付した場合にご使用ください。</p>
<p>【左右逆像】 バックミラーを見ている左右が反転状態になります。</p> 	<p>【上下逆像】 バックミラーを見ている上下が反転状態になります。</p> 
<p>【左右正像】 カメラを後方に向けてそのまま撮影した状態になります。</p> 	<p>【上下正像】 カメラを後方に向けてそのまま撮影した状態になります。</p> 

※ 本機に記録されるリアカメラの動画データの映像は反転されません。

■ カメラ映像の表示領域について




本機に表示されるカメラ映像は実際にカメラが撮影している一部を表示しています。
そのために、映像が表示されている液晶パネル画面を指でタッチしながら上下に動かすと表示される領域を、本機を動かさずに上下に変えることができる便利な機能があります。

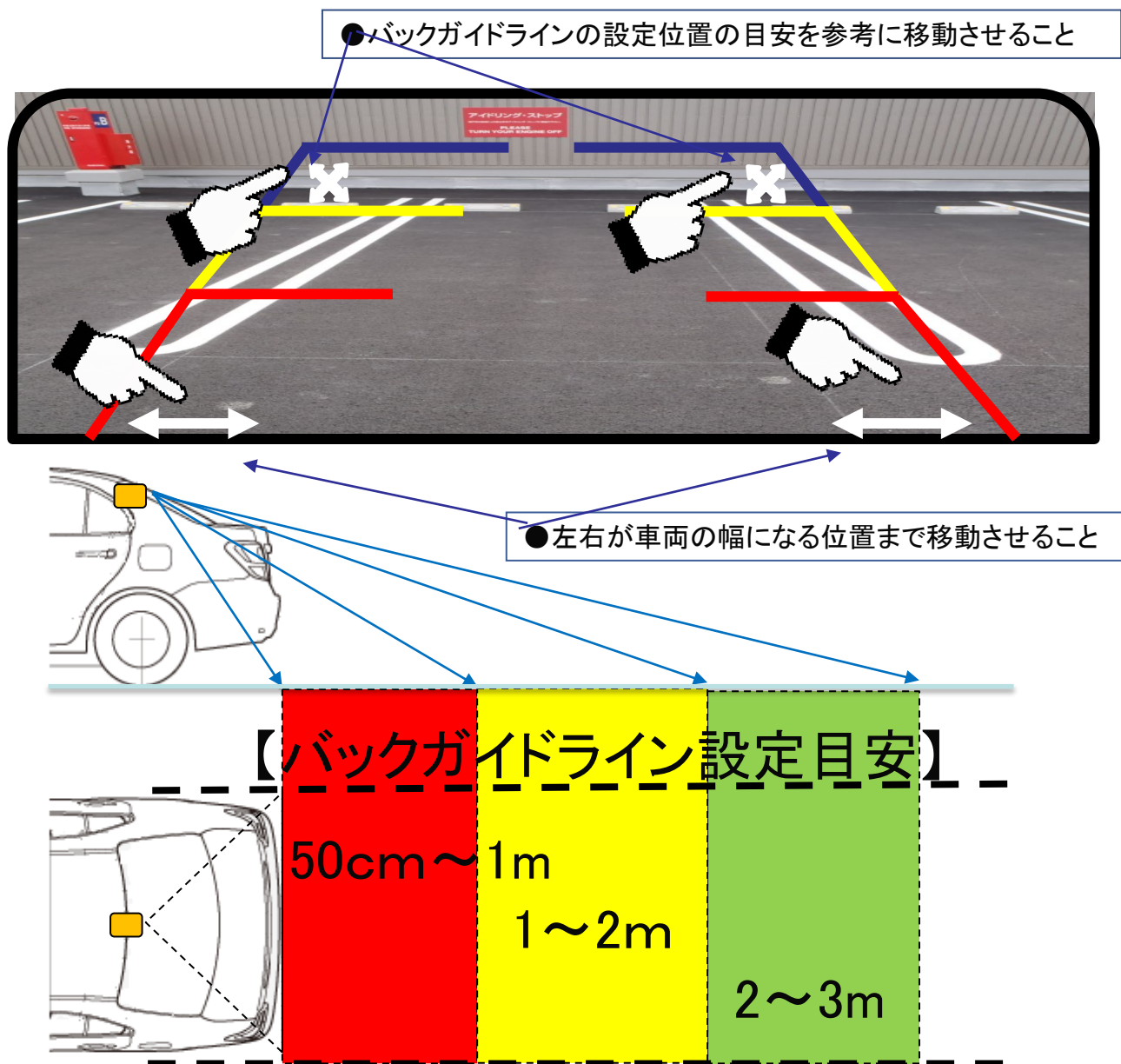


※ リアカメラで見た場合のイメージ画像です。

■本機の表示エリア切替とバックガイド表示について

液晶表示モニターにリアカメラの画像を表示させます。

- ①リアカメラを接続したら、カメラ切替「」アイコンをタッチして表示をリアカメラにします。
- ②設定「」アイコンをタッチして、バックガイド「」アイコンを選択すると、モニター画面にバックガイドを示す以下のようなラインが表示されます。下記の目安で設定してください。



注意事項

- 本製品は後方撮影用のカメラであり、ドライバーの後方視界を補助し、すべての障害物、危険物をカメラで映し出せるものではありません。また広角レンズを使用しており、実際の距離と遠近感が異なります。バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。
- 本製品をご使用になって接触事故等をされても、弊社は一切の責任をおよび保証はいたしませんので、あらかじめご理解とご了承くださいますようお願いいたします。

3:使用方法

ご使用前に、録画/再生の各モードの設定をおこなってください。

■ドライブレコーダー使用時の各機能切り替え設定について


※本機を起動すると、動画録画状態からスタートします。再生モードへの移行や各種機能切り替え設定をおこなう場合には必ず録画を停止する必要があります。



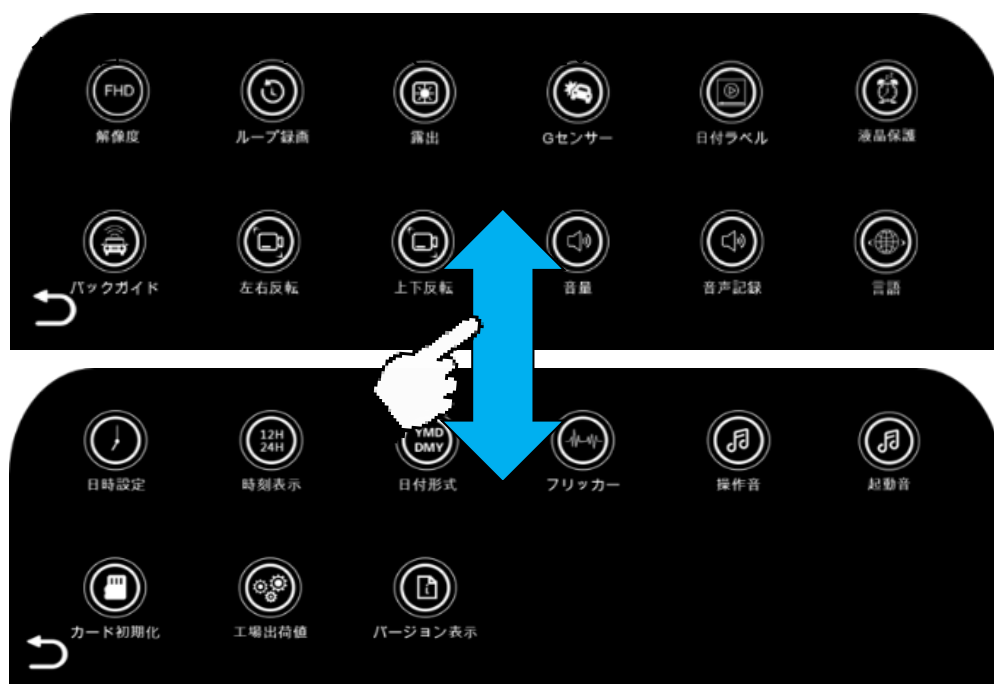
前後カメラ切替ボタン
P11を参照ください。

設定ボタン
P15 ~P17を参照ください。

【設定メニュー画面】

設定ボタン「」アイコンをタッチすると下記の画面に切り替わります。全項目を表示するにはメニュー画面を

上下にスワイプすると他のメニュー項目が表示されます。



※ リアカメラが接続されない場合と表示されないアイコンがあります。

4: 各種メニュー設定項目について

■基本設定メニュー項目

項目	アイコン	選択項目	初期値	機能説明
解像度		3840x2160	○	フロントカメラで撮影した場合の解像度を変更することができます。 3840×2160:4K相当 2560×1440:2.5K相当 1920×1080:FHD相当 リアカメラは全て1080P固定の解像度です。
		2560x1440		
		1920x1080		
ループ録画		1分		ループ録画の時間を変更することができます。
		3分	○	
		5分		
露出		-3		撮影する動画の露出を変更することができます。
		-2		
		-1		
		0	○	
		1		
		2		
		3		
Gセンサー		オフ		万が一の事故が発生し、本機が衝撃を受けた場合に、記録動画のデータを保存するための、感度設定を変更することができます。
		低		
		中	○	
		高		
日付ラベル		オフ		記録データに、日付情報の有無を選択することができます。
		オン	○	
液晶保護		オフ	○	液晶保護の目的で無操作時に保護をする時間を設定することができます。
		1分		
		3分		
		5分		
バックガイド				車両を後退するとき目安となる、リアカメラに表示される「バックガイドライン」の調整をする項目です。 ※: 設定方法の詳細説明はP13参照のこと ※: バックガイドはリアカメラのリバース信号を検出した際に表示されます。

■基本設定メニュー項目


項目	アイコン	選択項目	初期値	機能説明
左右反転切替		オフ(左右正像)	○	リアカメラ接続時に表示される項目です。リアカメラに表示される画像の左右を反転させる設定をすることができます。
		オン(左右逆像)		
上下反転切替		オフ(上下正像)	○	リアカメラ接続時に表示される項目です。リアカメラに表示される画像の上下を反転させる設定をすることができます。
		オン(上下逆像)		
音量		低		操作時、動画再生時の音量を調整する機能です。
		中		
		高	○	
音声記録		オフ	○	動画記録時に音声を有無を切替できる機能です。
		オン		
言語		英語		言語選択をする機能です。
		簡体中文		
		日本語	○	
日時設定		年		年月日時間を設定する機能です。
		月		
		日		
		時		
		分		
		秒		
		ゾーン		
時刻形式		12H		12/24時間表示の方法を切り替えます。 ※: 12時間表示にした場合には、日時設定内に、AM/PM選択項目が表示されます。
		24H	○	
日付形式		YY/MM/DD	○	日付の表示形式を設定する機能です。
		MM/DD/YY		
		DD/MM/YY		

■ 基本設定メニュー項目

項目	アイコン	選択項目	初期値	機能説明
フリッカー		自動	○	フリッカーモードを選択する機能です。
		50Hz		
		60Hz		
操作音		オフ		タッチパネルのアイコンをタッチした時の操作音の設定をする機能です。
		オン	○	
起動音		オフ		本体起動時の音声を設定する機能です。
		オン	○	
カード初期化				カードを初期化することができる機能です。
工場出荷値				本機を工場出荷値に戻す機能です。
バージョン				本機のシステムバージョンを確認することができます。

5:再生方法

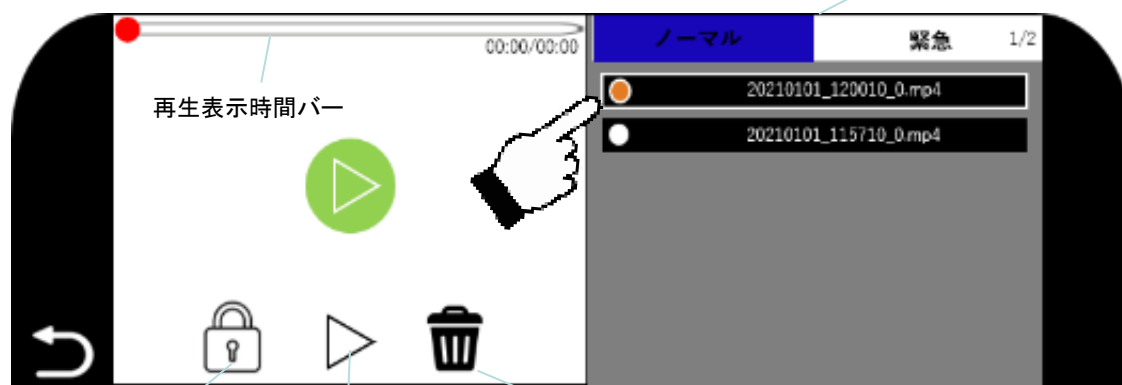
■ドライブレコーダー動画ファイルの再生について

再生ボタン「」アイコンをタッチすると

下記の画面に切り替わり、再生ファイルを選択できます。

【再生画面】

フォルダ名称切替タブ



ファイルロックボタン

再生ボタン

ファイル消去ボタン

本体フォルダ表示とmicroSDカード内の構造とファイルの種類について

本体 フォルダ表示	SD カード内 ディレクト リ表示		カード容量32GB											
			解像度：3840x2160（初期値）			解像度：2560 x 1440			解像度：1920x1080					
			ループ録画：3分（初期値）											
			音声録音：オン											
			ファイル量 (MB)	ファイル 数 (個)	トータル (GB)	録画時間 (分)	ファイル量 (MB)	ファイル 数 (個)	トータル (GB)	録画時間 (分)	ファイル量 (MB)	ファイル 数 (個)	トータル (GB)	録画時 間 (分)
緊急	event	front	670	9	6	27	275	20	5.5	60	185	20	3.7	60
		rear	182	15	2.7	45	182	15	2.7	45	177	15	2.6	45
ノーマル	normal	front	670	19	12.7	57	275	49	11.2	147	185	74	13.6	222
		rear	182	42	7.6	126	182	50	7.6	150	177	50	8.8	150
トータル					29				27				28.7	

※ 上記の表に数値は目安であり、ファイル上限数や動画録画時間を保証するものではありません。実際に撮影している映像の状況により画像の圧縮率が異なるために、撮影ファイル数は変化します。

※ ファイル形式はMP4ファイルで、フロントとリアで名称ルールで異なり、フロントが末尾「0」、リアが末尾「1」という名称になります。

※ Gセンサー検知時にロックされたファイルがいっぱいの場合、microSDカードに書き込みができません。

6: 注意すべき内容

- ①Gセンサーは、車体が衝撃を受けた時に、自動的に録画中のファイルを保護する機能です。Gセンサーの感度は高/中/低/オフから選択できます。Gセンサーの感度設定は衝撃の目安です。状況により動作を保証するものではありませんのでご了承ください。
- ②microSDカードに保存されたデータは基本設定モードのメニューで「フォーマット」をおこなうと、保護されているファイルも全て消去されますので注意してください。
- ③周波数を変更しても、LED式信号機を撮影した場合、信号が点滅・消灯して映ることがあります。これはLED信号の同調によるもので故障ではありません。
- ④内蔵バッテリーは、本機にDCシガーアダプターを経由して通電接続が確立した時点で自動的に充電されます。
- ⑤本製品が動作しなくなったり誤作動を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細いもので押して、本体のシステムを再起動してください。リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。
- ⑥万一のデータ消失に備え、必要なデータはPCに保存することをお勧めします。
- ⑦本体の汚れ等は、軟らかい布で乾拭きしてください。水や洗剤、液体は使用しないでください。液晶画面は強く押しついたりしないでください、破損の原因となります。
- ⑧録画の場合はファイルがいっぱいになると、上書きを行います。必要なデータはPCなどへ保存してください。
- ⑨ご購入時には、本機の内蔵バッテリー容量が低下している場合があります。ご使用前に必ず、設定メニュー画面で「日付/時刻」設定をしていただきますよう、お願い申し上げます。
- ⑩本製品を車輻に取り付け後、十分な充電容量が確保されていない場合や長時間車輻を使用しなかった場合には、本機の内蔵バッテリーが内蔵時計の時間機能を保持できなくなる場合がありますので、設定メニュー画面で「日付/時刻」設定をしていただきますよう、お願い申し上げます。

⑪microSDカードは「読み出し・書き込み」を繰り返し頻繁におこなう必要があるドライブレコーダーとの組み合わせにおいて、microSDカード自体の半導体チップ内に不整合情報が蓄積されていくことがあります。

そのような状態のSDカードを使い続けた場合、microSDカード自体の画像の記録保持機能だけでなく、ドライブレコーダー本体に対しても誤動作をとまなう障害を誘発してしまうことがあります。

そのような場合は定期的にmicroSDカードをフォーマットしたり、別途市販のmicroSDカードに差し替えていただくことをおすすめいたします。

⑫本製品に同梱されているmicroSDカード以外に、市販のmicroSDカードをご使用になる場合には、クラス、容量の仕様の制約の他に、本機と親和性のない製品も存在します。すべての市販品との製品親和性組み合わせを検証することは困難ですので、あらかじめご理解の上でご使用いただきますようお願い申し上げます。

【後方視界用モニターとして、ご使用時の注意事項】

- 本製品に同梱のリアカメラについて。
後方撮影目的のカメラであり、ドライバーの後方視界を補助し、すべての障害物、危険物をカメラで映し出せるものではありません。
また広角レンズを使用しており、実際の距離と遠近感が異なります。
バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。
- 走行中に本体のモニター画面をタッチすることで後方視界を確認できますが、自身の車両周囲の走行環境を実際に確認しながら運転をしてください。
- 本製品をご使用になって接触事故等をされても、弊社は一切の責任をおよび保証はいたしませんので、あらかじめご理解とご了承くださいますようお願いいたします。

7: 主な仕様

製品名称	ミラー型ドライブレコーダー
品番	KH-M9600R
電源電圧	5V/2A(入力:DC12V~24V)
モニター	9.6型 液晶パネル
フロントカメラセンサー	400万画素
リアカメラセンサー	200万画素
記録媒体	microSDHCカード(クラス10以上推奨/容量8~32GB)
記録形式	動画:MP4
ループ録画機能	1分/3分/5分
Gセンサー	オフ/低/中/高
音声録音	オン/オフ
内蔵バッテリー	リチウム電池650mAh
外形寸法	本体:約264x42x77.5mm
重量	本体:約360g

※仕様(同梱物を含む)およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

8:故障かなと思ったら

状態	考えられる原因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・DCシガー電源アダプターが正しく装着されているか確認してください。・シガーソケット内が汚れていたりすると、正しく給電されない場合があります。清掃を行なってください。・内蔵バッテリーのみで動作させている場合、バッテリーが放電している可能性があります。電源を接続して使用してください。
撮影ができない	<ul style="list-style-type: none">・撮影可能枚数の解像度別の上限に達していないか確認してください。
カードエラーと表示する	<ul style="list-style-type: none">・microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。・microSDカード内をFAT32形式で、フォーマットしてください。
カードなしと表示する	<ul style="list-style-type: none">・本機にmicroSDカードを挿入してください。
初期化してくださいと表示する	<ul style="list-style-type: none">・microSDカードをフォーマットしてください。
ファイルがいっぱいです	<ul style="list-style-type: none">・microSDカード内のデータをPCへ保存して消去してから、再度本体に挿入してください。・Gセンサーにて検出された動画データはファイルがロックされます。ロックされたファイルは上書きされません。また本機からロックされたファイルは消去することはできないので、全ファイルをフォーマットするか、もしくはPCでロックされたファイルを削除してください。
動作しなかったり、誤作動を起こす	<ul style="list-style-type: none">・本体背面部のリセットボタンを、先の細いもので押し本体を再起動させてください。

状態

考えられる原因

既設の車載テレビの地デジ番組がワンセグしか視聴できなくなった。
または視聴できなくなった。

電化製品は動作時に、その回路基盤からノイズを放出したり、他の機器からのノイズを受けることがあります。その影響は環境によりまちまちで、問題が発生する場合もあれば、全く影響を受けないこともあります。

影響のある場合には以下の対応を試してみてください。

- ・お互いの機器を極力離して使用してみる。
- ・アンテナの取り付け位置を変える。
- ・市販の電磁波防止用のシートで、ノイズの発生元を遮断する。
- ・ケーブル類にはノイズの伝送を低減することができる、フェライトコアなどを装着する。

保証書

本保証書は製品ご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

- 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理させていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
 - ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、サポートセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数)、などによる故障及び損傷。
 - ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 消耗品、付属品などを他社製品と交換することによる故障及び損傷。
 - 液晶の損傷。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- データの取り扱いについて
 - 本修理サービスにおきまして、当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業等は一切行いませんので、ご了承願います。
 - 修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の設定を初期化、工場出荷状態に戻す等の作業を行わせていただきます。その際にお客様が登録した設定等は失われます。
 - 修理等の作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失等が生じる場合があります。
当社は、記録データの破損・消失等についての責任は負いかねますので、ご了承願います。
※修理の際に大切な記録データは必ずバックアップをおとりください。
 - 修理等の作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品は製造元の所有物として回収させていただきます、返却は致しかねますのでご了承願います。
- 本規定の変更
当社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに本規定の内容を変更できるものとします。この場合、本保証書の提供条件は変更後の規定によるものとします。
なお、変更後の規定については、当社ホームページにより通知するものとします。

ご購入日	西暦	年	月	日
お客様名				
保証期間	ご購入日より 1年間			
機種名	KH-M9600R			
ご購入販売店、住所、電話番号				

商品お問い合わせ先
株式会社 カイhouジャパン
〒192-0903 東京都八王子市万町10-1
TEL: 042-686-3645 (サポートセンター)
受付時間: 月～金曜日(祝祭日除く)10時～17時

カイhouジャパンHP
(<http://kaihou.com/>)

